

令和3年度(2021年度)

(一財)熊本国際観光コンベンション協会

事業計画書

令和3年3月作成

(一財)熊本国際観光コンベンション協会

【コンベンション協会の目的】

交流人口の増

- ・ 地域産業経済の活性化
- ・ 文化の向上

【令和3年度(2021年度)の取り組み】

新しいスタイルで、観光・MICEでの地域経済の向上
～安全で満足する新しいカタチの創造～

新規観光素材開発

新しいモノ・話題を創る

既存観光素材磨き上げ

- ⇒ 見せ方、活用方法を工夫する
- ⇒ 高付加価値化

立寄り・通過・見学型

限られた時間で多くのモノを

リモート・体験・知的探求

- ⇒ 感染予防策の徹底
- ⇒ 少人数対応を拡充

100万人 × 1,000円

人数重視、出来るだけ安価

1万人 × 100,000円

- ⇒ 低価格競争から脱却
- ⇒ 期待を上回る経験の提供

コンベンション協会の存在意義を示す

ニュースタイルに対応した

MICE

① 誘致、支援策の推進

- ⇒ 安心安全な開催を促す各種ツールの活用、発信
- ⇒ 熊本市をプロモーションするデジタル素材の作成

② 2022年開催予定の「日本外科学会」に向けた準備

- ⇒ おもてなし準備及び開催周知と機運醸成
- ⇒ 地元の開催関係者との連携強化

観光

① 新しい受入体制の整備

- ⇒ 音声ガイド、周遊アプリの本格稼働
- ⇒ 熊本城特別公開第3弾に併せた受入体制の拡充

② 既存コンテンツの磨き上げ

- ⇒ 水前寺成趣園築庭350年に併せた水前寺地区の活性化
- ⇒ 着地素材の再構築

運営

① 協会運営の多角化、拡大

- ⇒ 事業多角化の推進
- ⇒ 財産運用の研究、実施

② 業務の抜本的な見直し

- ⇒ 会員向け総合相談窓口の設置と情報収集、発信
- ⇒ 決裁事務及び帳票のデジタル化検討と推進

I MICE誘致・支援

誘致・支援策の推進を図ります

(1) 新たなコンベンションの開催誘致

⇒ 新しい誘致スタイルへの転換

(2) 開催情報の収集、ネットワークの継続

⇒ 地元の開催関係者に対し、MICE関連需要に関する機運醸成を図る

⇒ 全国の誘致情報収集や意見交換を通じ、当協会の誘致戦略の検証と改善をおこなう

(3) 開催支援助成金の充実

⇒ コロナ禍後の開催状況や開催に伴う経済効果等の現状把握と検証をおこない、より高い経済効果を目指す

(4) 物的支援の継続実施

⇒ 開催促進及びおもてなしの向上を図るため、大会歓迎看板の掲出などを充実させ継続実施

(5) コンベンション統計業務

⇒ コンベンション開催がもたらした経済波及効果の調査・分析をおこなうとともに、その結果を公開し、関係団体等との共通認識を図りつつ、地域全体のおもてなし機運を醸成する

II 観光客の受入・誘致

新しい受入体制を整備します

(1) 受入体制の整備・強化

⇒ 安心、安全かつ少人数対応の受入体制を整備し、商品化・誘致につなげる

(2) 海外への情報発信と受入体制の構築

⇒ 観光関連各種団体や行政との連携を深め、最新の情報発信やインバウンドの受入を行う

(3) 教育旅行の受入・誘致

⇒ 需要が見込まれる教育旅行誘致は2019年度より協会事業として継続実施

III 観光資源の活性化

(1) 地域に密着した活動の支援・協力

⇒ 植木温泉地区・水前寺地区での活動に対する協賛やマンパワーの支援

⇒ 水前寺地区で行われる祭りや中心市街地開催(城彩苑夜市など)のイベントに関する実践的な協力

⇒ 「UDくまもと」や「春日人おてもやん」との連携

IV おもてなしの充実

(1) 観光ボランティアガイドの資質向上と連携強化

⇒ 城彩苑内常駐ガイドの派遣依頼

⇒ 法人化した「くまもとよかとこ案内人の会」の運営安定への協力

(2) 観光案内所の運営

⇒ 城彩苑、JR熊本駅構内の案内業務を受託

⇒ ニーズ調査に基づく各種サービス提供(二次交通チケット販売や記念品販売など)

⇒ インフォメーション機能の充実(デジタルサイネージの運用)

(3) 熊本博物館受付・販売の運営

⇒ 熊本博物館の受付業務及び販売業務を受託

(4) 熊本城二の丸お休み処・本丸お休み処の運営

⇒ 来城者ニーズの把握と対応

V 情報収集・広報・宣伝活動

(1) 観光パンフレット等の制作及び配布

⇒ 安全に観光可能な情報を含む広報ツールの見直し

(2) 各種広報活動の更新・継続

⇒ 熊本城特別公開第3弾など旅行関係者への情報発信を強化

(3) 観光客実態調査の実施

⇒ 観光案内所や二の丸お休み処、水前寺地区などで、観光客動態の調査・分析を実施
⇒ コロナ禍に対応したオンライン調査、集計及び分析

(4) 観光情報の収集・ネットワークの構築

⇒ 観光関連各種団体との連携を図り、情報収集に努める

VI 協会運営基盤の見直し

(1) 基本財産・運用財産の効率的な資金運用・管理の見直し

⇒ 高い運用益を得られる運用方法の研究・実施
⇒ 運用財産の効率的かつ弾力的な運用を実施
⇒ 基本財産一部の効率的かつ弾力的な運用を検討

(2) 協会運営の見直し

⇒ 「働き方改革」に伴う協会規則・運用等の見直し検証
⇒ 決裁事務や帳票のデジタル化に向けた検討
⇒ 接遇や業務の深掘りなど職場内研修(OJT(On the Job Training))の実施
⇒ コロナ禍における会員向け総合相談窓口の設置と情報の収集、発信

(3) 収益事業の多角化、拡大

⇒ 熊本市動植物園正面ゲート再整備に伴う売店運営継続への取り組み
⇒ 熊本博物館ミュージアムショップの安定的経営に向けた取り組み
⇒ 熊本城本丸内での営業再開への取り組み
⇒ オンラインショップの充実と販売強化
⇒ 観光客実態調査やイベント関連運営業務などの継続受託
⇒ 印刷物作製等の受注
⇒ オリジナル商品の開発